ポスターセッション | HLHS・類縁疾患

ポスターセッション-外科治療01(P70)

HLHS・類縁疾患

座長:

磯松 幸尚(横浜市立大学 外科治療学心臓血管外科・小児循環器科) Wed. Jul 6, 2016 6:00 PM - 7:00 PM ポスター会場 (天空 ノース) P70-01~P70-06

6:00 PM - 7:00 PM

[P70-06]肺動脈絞扼手術時の術中経食道心エコーによる肺静脈 verocity time integral (VTI)測定の意義

 $^{\circ}$ 白石 修 $^{-1}$, 杉本 愛 1 , 文 智勇 1 , 高橋 昌 1 , 土田 正則 1 , 今井 英 $^{-2}$, 吉田 敬之 2 , 大橋 宣子 2 , 番場 景子 2 (1.新潟大学 医歯学総合病院 心臓血管外科, 2.新潟大学医歯学総合病院 麻酔科)

Keywords:経食道心エコー、肺動脈絞扼術、VTI

【はじめに】術中経食道心エコー(TEE)により計測した肺静脈還流血流(PV-return)の verocity-time integral (VTI)の術前後の変化を後方視的に検討する。 【方法】2011年1月から当院で行った初回肺動脈絞扼術のうち、術中 TEEにより PAB前後の PV-return VTIの計測が可能であった32例を対象とした。 VTIは右上肺静脈(RUPV)、右下肺静脈(RLPV)、左上肺静脈(LUPV)、左下肺静脈(LLPV)の4か所で計測を行い、右肺静脈 RPV-VTI= RUPV-VTI+ RLPV-VTI、左肺静脈 LPV-VTI)= LUPV-VTI+ LLPV-VTIとして算出した。対象は主肺動脈絞扼群 (mPAB群: 21例)と両側肺動脈絞扼群(BPAB群: 11例)に分けて検討を行った。 【結果】 PAB手術時年齢は2生日~5か月、手術時体重3.4±1.0kg。診断は HLHS/variant 6例、 CAVSD 6例、 CoA/IAA complex 6例、 SRV(Asplenia) 4例、 DORV 3例、 Truncus 2例、その他5例。 mPAB群では PAB前後で SaO2 93.3±6.4%→85.8±7.4%に低下し PAB flow 3.54±0.45m/s、 RPV-VTI 37.1±9.7cm→22.2±7.7cm (p<0.001)、 LPV-VTI 34.8±8.0cm→25.3±11.2cm(p<0.001)に変化した。 BPAB群では PAB前後で SaO2 93.2±3.1%→80.1±4.2%に低下し PAB flow 2.85±0.37m/s、 RPV-VTI 37.1±13.6cm→20.3±6.9cm (p=0.0194)、 LPV-VTI 36.2±9.9cm→21.2±8.1cm(p=0.0072)に変化した。 mPAB群と BPAB群との間に VTIの変化に有意な差は認めなかった。 【まとめ】 PAB手術時における TEEによる PV-VTIは肺血流量を反映し絞扼調節の評価に有用である可能性がある。